医療法人貝塚病院　季刊誌(すまいる　かいづか通信)　2013　Spring

すまいる

かいづか通信

Vol.03

平成２５年度　貝塚病院管理職研修会にて
講師　聖路加看護大学　常任理事 兼 事務局長　渡辺 明良　先生
「目標管理と人事考課の基本的理解」

CONTENTS

・新任医師紹介
・春野菜を使った健康レシピ
・病気のおはなし
・医療安全について
・すまいるリレー
・新入職員紹介
・診療案内

新任医師紹介

循環器内科部長
山脇　徹（ヤマワキ　トオル）

【出身】
九州大学医学部

【専門分野】
循環器内科

【趣味】
読書・ドライブ
自転車・買い物

【認定医・資格】
日本内科学会認定医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
心臓リハビリテーション指導士

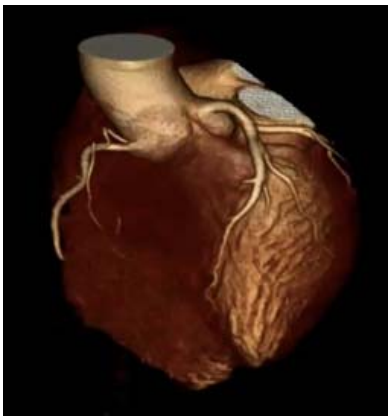
循環器内科

平成25年4月より、貝塚病院内科に常勤医師として勤務することになりました。専門は循環器内科です。

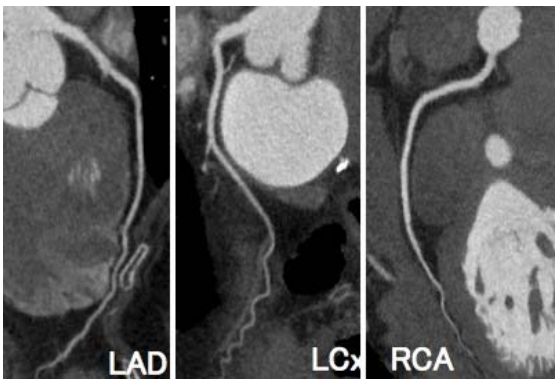
若い頃は、心筋梗塞や狭心症などの虚血性心臓病に対して、冠動脈造影検査や冠動脈形成術（ステント留置術）などを一生懸命やっていました。

貝塚病院では今のところ冠動脈造影検査はできませんが、東芝製64列CTが導入されています。これにより、冠動脈造影検査を行わなくてもCTにて冠動脈を評価することが可能です。心拍数を抑える必要があることや石灰化の高度な症例やステント治療後の症例は評価が困難などの制約がありますが、入院の必要がなく外来で検査可能です。

虚血性心臓病以外でも心不全・不整脈から高血圧などの生活習慣病までなんでもご相談下さい。



※ 実際の冠動脈CT画像です



冠動脈って何？

冠動脈とは、心臓の周囲を取り巻く動脈のことで、心臓の筋肉に酸素や栄養を運ぶ為に重要な働きをしています。

冠動脈造影検査って何？

冠動脈造影検査とは、カテーテル検査の一つで、カテーテル（2mm程の細い管）を手首や肘、足の付け根などの血管から挿入して、心臓の血管である冠動脈まで挿入して造影剤を入れて、冠動脈のレントゲン撮影を行うのが冠動脈造影検査です。

貝塚病院でできる冠動脈検査は？

当院で行える冠動脈検査は、64列マルチスライスCTで評価します。冠動脈検査を行う場合は、造影剤を使用して行うのが一般的ですが、2～3日の入院が必要になる、カテーテルを挿入する際に血管を傷つけてしまう、造影剤を注入する際に血栓や空気が血管の中を移動してしまい、合併症を引き起こしたりする可能性があります。冠動脈CT検査では、入院したり合併症を引き起こすリスクなどがなく、検査の時間も数十秒で終わる為、受診して会計を済ませるまで約1時間程度で終わります。

64列マルチスライスCT

【出身】
久留米大学医学部

【専門分野】
呼吸器内科

【趣味】
ゴルフ

【認定医・資格】
日本内科学会認定医

呼吸器内科医長
永渕　義朗（ナガフチ　ヨシロウ）

呼吸器内科

今年4月より、常勤医師として勤務させていただくことになりました永渕 義朗です。

久留米大学卒業後、筑後地方を中心に関連病院に勤務し、呼吸器内科一般を診療して参りました。今後も呼吸器内科を中心に、地域医療に貢献出来るよう勤めていきたいと思います。COPD、肺炎、慢性呼吸不全等の患者さまの入院加療や外来評価等ございましたらご紹介頂ければ幸いです。また、内科全般に関しても日々スキルアップする努力をしていきたいと思います。
どうぞ宜しくお願い致します。

COPDってどんな病気？

最近、テレビなどで皆さまもこの言葉を耳にすることがあるかと思いますが、COPDとは慢性閉塞性肺疾患（Chronic Obstructive Pulmonary Disease）の略です。COPDは一つの病気ではありません。慢性気管支炎・肺気腫・びまん性汎細気管支炎など、長期間にわたり気道が閉塞状態になる病気の総称をいいます。

・慢性気管支炎

慢性気管支炎は、原因不明の咳と痰が長期間続く症状をいいます。発症の大きな原因の一つとして長期の喫煙が考えられます。

長い間たばこを吸っていると、杯細胞や気管支腺が増加して分泌物がたまって痰が増えるようになります。こうした症状がみられる慢性気管支炎は、ほとんどの場合、肺気腫という病気をともなっています。

・肺気腫

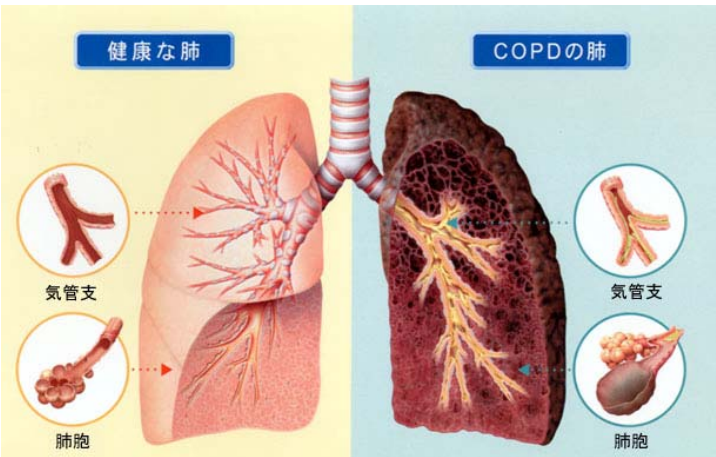
肺気腫は、肺の中で、血液に空気中の酸素を取り入れ、血液中の二酸化炭素を空気中に排出する働きをしている肺胞が破壊される病気です。発症の大きな原因の一つとして慢性気管支炎と同様、長期の喫煙が考えられます。

肺気腫になると、肺の弾力性が低下し、気道を支える力が失われ、息を吸うときは問題ないのに、吐くときは空気が出にくくなり、努力すればするほど息を吐きにくくなります。

最初に見られる症状は、身体を動かした後の息切れです。

・びまん性汎細気管支炎

気管支は、中枢から抹消へ枝分かれしてだんだん細くなり、「肺胞」という小さな袋に入る手前の部分を呼吸細気管支といいます。びまん性汎細気管支炎は、呼吸細気管支に慢性炎症がおこり、咳や痰が出たり、息苦しくなったりします。



放射線科部長
清水　勅君（シミズ　トキヨシ）

【出身】
宮崎医科大学医学部

【専門分野】
画像診断全般

【趣味】
旅行

【認定医・資格】
日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本がん検診・診断学会認定医
マンモグラフィ読影認定医
日本インターベンショナルラジオロジー(IVR)学会

放射線科

今年度4月より、貝塚病院の放射線科常勤医師として着任致しました清水です。

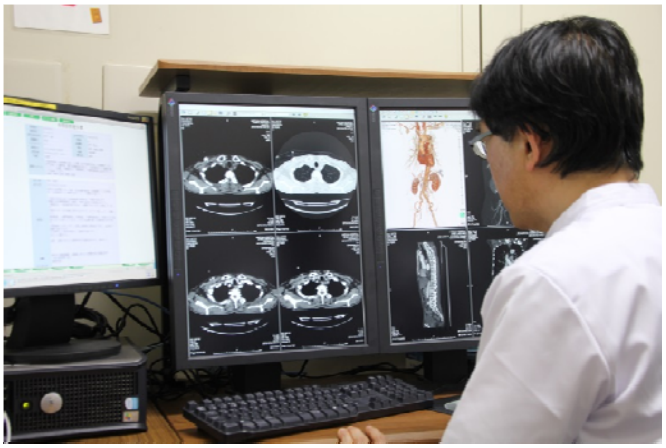
簡単に自己紹介致します。私は高校まで東京で過ごし、大学進学で宮崎に参りました。宮崎医科大学卒業後、17年間宮崎県内の各拠点病院で勤務し、8年前に福岡に異動致しました。福岡は都会であると同時に自然にも恵まれており、住みやすくて大変気に入っています。

今まで大学の医局人事により職場の異動を繰り返し、色々な病院で勤務してまいりました。慣れた頃に転勤の連続で大変でしたが、各々の病院で得てきたものも大きかったです。そのようにして得たもののうち、いいところを貝塚病院に取り入れていき、今後の発展につなげていきたいと考えております。

さて、放射線科医として私の業務ですが、主にCT・MRIなどの画像診断を行っております。X線や磁気を用いて体内の断面像を作り、病気がないか、病気がある場合どの様な病気か、どの程度の広がりがあるか、などの診断をしていきます。それによって治療方針が決定されますので、「迅速かつ的確に」をモットーに診療に励んでいます。これからも患者さまに役立つ最良の放射線科医療を提供してまいります。また、病診連携にも力を入れていきたいと考えていますので、近隣の先生方からのCT・MRI検査のご紹介をいただければ幸いです。

私は、放射線科医としては珍しく(?)、米国心臓協会認定のBLS(一次救命処置)、ACLS(二次救命処置)のインストラクター資格を有しております。院内外問わず急変時に遭遇した場合に対応できるよう、スタッフの練習に取り組んでいきたいと考えております。

皆様のお役に立てるよう、日々精進していきたいと思っております。宜しくお願い致します。



画像診断を行っている様子

64列マルチスライスCT

MRI 1.5テスラ

春野菜を使った健康レシピ♪♪

多才な管理栄養士　田崎 遥

春野菜グラタン

寒かった冬も過ぎ、温かい春がやってきました♪♪

今回は、今の季節に出回る春野菜を使ったレシピをご紹介致します。

【使用する野菜】
- グリーンアスパラガス
- 春キャベツ
- 新じゃがいも

・・・ これらの旬の野菜には、皮膚や血管の老化を防ぐビタミンCなどが含まれています。野菜を上手に摂取して、生活習慣病予防を心がけていきましょう。

【材料(2人分)】

- ●グリーンアスパラガス・・・4本
- ●春キャベツ・・・・・・・・1枚
- ●新じゃがいも・・・・・・・1個
- ●大正えび・・・・・・・・・5尾
- ●ホワイトソース
  - ・バター・・・・・・大さじ1 1/2
  - ・小麦粉・・・・・・大さじ2
  - ・牛乳・・・・・・・カップ2
  - ・塩、こしょう・・・各少々
- ●チーズ(ピザ用)・・・・・20ｇ

【作り方】

ステップ1

① グリーンアスパラは下約1cmを切り落とします。(下の方は皮が硬いので、半分くらいまで皮をむきます。)
② ①を塩を加えて茹でたあと、冷水にとって冷まし、斜め切りにします。
③ 春キャベツは一口大に切り、塩を加えて茹でます。
④ 新じゃがいもは薄くスライスして、塩を加えて柔らかく(2～3分)茹で、水気をきります。
⑤ 大正えびは殻をむき、背わたを取って尾の先を切り、塩を加えて約2分茹でます。

ステップ2

ホワイトソースを作る

・ 鍋にバターを溶かし、小麦粉を弱火で炒めて粉気がなくなったら鍋を濡れ布巾の上にとり、牛乳を少しずつ加わえて溶きのばしていき、塩・こしょうで味を調えます。

バターを溶かし、小麦粉を炒める

牛乳を少しずつ加える

ステップ3

・ グリーンアスパラガス、春キャベツ、新じゃがいも、大正えびをホワイトソースで和えて耐熱皿に入れ、チーズをふって240℃のオーブンで約15分焼く。

完成

病気のおはなし

細菌性腸炎・細菌性食中毒について

内科部長
村川　昌弘

高温・多湿の季節となりました。これから夏にかけては細菌の増殖しやすい環境ですので、細菌汚染した食品を摂取することによる細菌腸炎や細菌性食中毒の発症リスクが増えてきます。発生原因は食品自体の細菌汚染、細菌汚染された器具や手指などからの二次感染、さらに食品の保冷不足、そして調理時の加熱不足などです。
細菌性腸炎は食品に付着した細菌が体内で増殖すること（感染型食中毒）で、細菌性食中毒は細菌が作った毒素を含む食品を食べること（毒素型食中毒）で発病します。

原因となる菌やその発症機序の違いによって潜伏期・病状・経過などが異なりますが、主な症状として下痢・しぶり腹・腹痛・嘔気・嘔吐・発熱などがあります。また、血便や頭痛を認めることもあります。確定診断は便などから細菌や毒素を検出することで行いますが、結果が判明するまでに通常数日以上かかります。実際の臨床診断は受診時の身体症状・身体所見の診察・飲食歴や同じ飲食を行った人の症状の有無、海外渡航歴等の問診、血液検査（白血球数、CRP値など）によっても行われます。

細菌性腸炎・細菌性食中毒の原因となる細菌には次のような種類があります。

腸炎ビブリオ

海水（塩分3%）で増殖し、海産魚介類の内臓やエラなどに付着しています。10℃以上の室温でも増殖するため、夏季には生食用のさしみを汚染することがあり、海産物に付着した腸炎ビブリオがまな板などを通じて他の食品を二次感染することもあります。腸炎ビブリオは、真水や加熱に弱いです。腸炎ビブリオの一種、ビブリオ・バルニフィカスは肝臓病を持つ人が感染、発症すると重篤な症状となることがあります。

サルモネラ

特に鶏肉・鶏卵および鶏卵加工品を汚染することがありますが、動物の腸管内に分布しており、ペット類も汚染源となります。熱に弱く、加熱によって死滅します。

カンピロバクター

鶏・牛・豚などの腸内に常在する菌です。食肉を汚染することがあります。加熱によって死滅します。

病原性大腸菌(腸管出血性大腸菌　O-157など)

生レバーやユッケなどの生肉や井戸水の汚染により感染します。少ない菌量でも発病することがあります。

「ベロ毒素」を産生し、溶血性尿毒症症候群を引き起こして重篤な症状となることがあります。加熱によって死滅します。

黄色ブドウ球菌

健康な人の皮膚、鼻腔、咽頭等に常在しており、化膿創では大量の黄色ブドウ球菌が増殖します。人の手を介しておにぎりやサンドウィッチ、シュークリーム等の食品が汚染されることがあります。腸管毒素「エンテロトキシン」を産生しますが、エンテロトキシンは加熱しても不活化しません。

土壌細菌(ボツリヌス菌・ウェルシュ菌・セレウス菌)

熱に強い殻（芽胞）を形成し加熱には強い菌です。毒素も耐熱性です。特にボツリヌス毒素による食中毒が致死率が高いので注意が必要です。

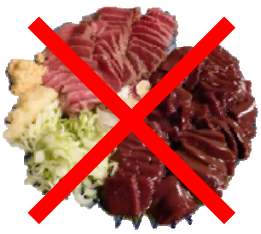
赤痢菌

人の腸管上皮細胞を破壊して血便（細菌性赤痢）を起こします。重症型は疫痢と呼ばれます。感染力が強く、少ない菌量でも感染します。加熱によって死滅します。

細菌性腸炎・細菌性食中毒の予防三原則

細菌性腸炎・細菌性食中毒の予防三原則は、食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」ことです。

具体的には、食肉類の生肉は避ける、鶏肉と牛レバーの生食をしない、魚介類は真水でよく洗う、感染された器具や手指などをよく洗う、食品の冷蔵保存に努める、調理は充分に加熱する、井戸水は煮沸する、加熱調理後はなるべく早めに食べる、いったん食品中で菌が増殖すると通常の加熱調理では熱に強い毒素は分解出来ないことに注意する、食べ残しを再調理して食べることは避ける、等々でしょう。



治療について

最後に治療についてですが、下痢は病原菌を早く排除するための「生体防御反応」であるため、症状の強い場合には止痢薬（下痢止め）や鎮痙薬（痛み止め）を使用することもありますが、必要最小限の使用にとどめることが望ましいとされています。細菌性腸炎（感染型食中毒）で症状が強いものについては抗生物質を使用することがあります。制吐薬（吐き気止め）による対症療法も行われます。下痢や嘔吐による脱水症の予防には水分補給が大切で、電解質輸液の点滴静注による治療が必要なことがあります。

下痢、腹痛、嘔気、嘔吐、発熱、血便などの症状が現れた時は、早めに医療機関を受診して下さい。早期発見・早期治療で患者さまの身体のご負担を軽減させることが出来ます。また、今回ご紹介した感染症以外でも、普段と身体の調子が違うなど違和感を感じた時は、お気軽に当院までご相談下さい。

医療安全について

～医療安全を患者さまと共に～

医療安全管理室師長　藤川　和子
（フジカワ カズコ）

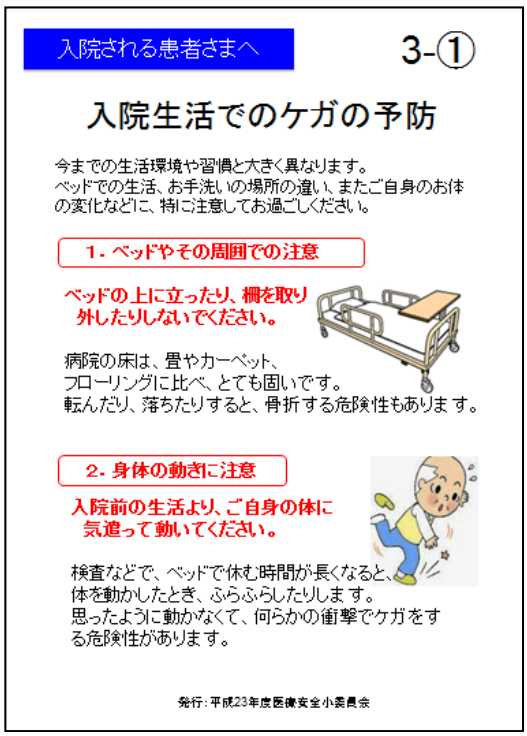
桜の花びらが散り、初夏が近づいてきました。

今回は「医療安全を患者さまと共に」というテーマで、お話をさせていただきます。

皆さまご存じのように、病院や診療所、介護福祉施設等医療界での、間違いは許されないことです。患者さまという人間の「命」に関わるからです。きっと皆さまも、病院は間違いを起こすわけがないと思われている方も多いのではないでしょうか。批判を承知であえて言わせていただくと、医師、看護師など医療従事者も同じ人間であり、思い込みや見間違いなどによって間違いを起こすこともあるのです。その間違いをなるべく少なくし、患者さまにかかってしまう影響を最小限にとどめていこうとする取り組みが医療安全といえます。

貝塚病院で一番多い事故、実は患者さまの「転倒転落」なのです。

入院による環境の変化やご高齢になって足の筋力が低下してしまう為に転倒転落は起こってしまいます。そのために入院生活の中での危険などを患者さまやご家族に知っていただき、患者さまやご家族にも注意をしていただくことで少しでも転落事故を減らし、患者さまへかかる影響を最小限にしていきたいと思っています。患者さまやご家族と一緒に事故を少なくしていこうという取り組みです。



入院される患者さまへ　3-①

入院生活でのケガの予防

今までの生活環境や習慣と大きく異なります。
ベッドでの生活、お手洗いの場所の違い、またご自身のお体の変化などに、特に注意してお過ごしください。

1. ベッドやその周囲での注意

ベッドの上に立ったり、柵を取り外したりしないでください。

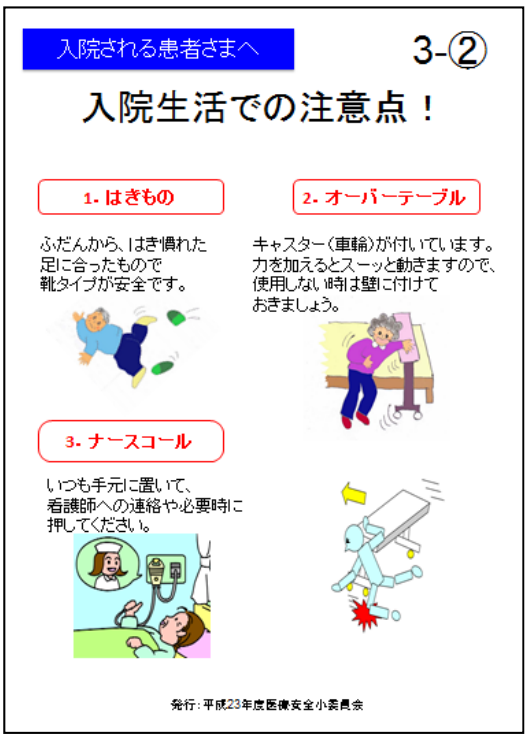
病院の床は、畳やカーペット、フローリングに比べ、とても固いです。
転んだり、落ちたりすると、骨折する危険性もあります。

2. 身体の動きに注意

入院前の生活より、ご自身の体に気遣って動いてください。

検査などで、ベッドで休む時間が長くなると、体を動かしたとき、ふらふらしたりします。
思ったように動かなくて、何らかの衝撃でケガをする危険性があります。

発行：平成23年度医療安全小委員会



入院される患者さまへ　3-②

入院生活での注意点！

1. はきもの

ふだんから、はき慣れた足に合ったもので靴タイプが安全です。

2. オーバーテーブル

キャスター（車輪）が付いています。力を加えるとスーッと動きますので、使用しない時は壁に付けておきましょう。

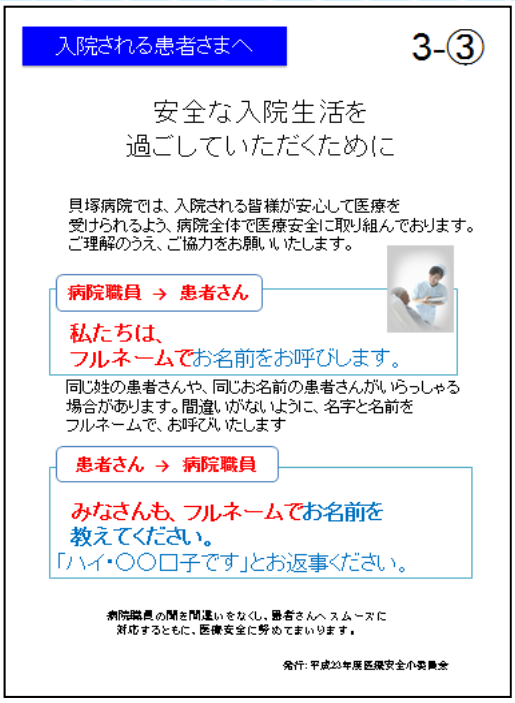
3. ナースコール

いつも手元に置いて、看護師への連絡や必要時に押してください。

発行：平成23年度医療安全小委員会

貝塚病院の取り組みの一つとして
「患者様のお名前をフルネームでお呼びします」
「患者様もフルネームでお答えください」
という取り組みを実際に行っています。

この取り組みを始めた頃は「なんで？」「いつもの看護師じゃないか」「めんどくさい」などの言葉が患者さまだけでなく、看護師からも感じられましたが、段々慣れ「普通の事」と認識されてきました。これからもご協力をお願い致します。



入院される患者さまへ　3-③

安全な入院生活を
過ごしていただくために

貝塚病院では、入院される皆様が安心して医療を受けられるよう、病院全体で医療安全に取り組んでおります。ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

病院職員 → 患者さん

私たちは、
フルネームでお名前をお呼びします。

同じ姓の患者さんや、同じお名前の患者さんがいらっしゃる場合があります。間違いがないように、名字と名前をフルネームで、お呼びいたします

患者さん → 病院職員

みなさんも、フルネームでお名前を教えてください。
「ハイ・〇〇口子です」とお返事ください。

病院職員の間を間違いをなくし、患者さんへスムーズに対応するともに、医療安全に努めてまいります。

発行: 平成23年度医療安全小委員会

本来、医療は患者さまと医療従事者との信頼関係の下に、患者さまの求める医療を提供していくものです。医療安全を考える上で、患者さまの立場を最優先に考えるのはいうまでもありません。患者さまと共に医療に関する情報を共有しながら、患者さまと医療従事者との相互関係を深め、医療の透明性を高めていくことにより、より良い信頼関係が築かれていくのではないかと考えております。

間違いを患者さまが一番先に見つけることや、医療従事者が気付かなかった構造上の問題が苦情で明らかになるなど、患者さまからの情報提供には、医療安全の為の重要なヒントがあります。病院の職員、医療従事者にお伝えいただくか、ご意見箱などをご利用いただき、ご希望、お叱り、問題だったことなどをお教えください。患者さまに満足していただくと共に、医療安全に繋げていきたいと思います。
貝塚病院はこれからも頑張って参りますのでよろしくお願い致します。

最後にもう一度、入院された際は、是非転びにくい「靴」で入院生活をお過ごしください。

すまいるリレー

こんにちは、中央受付の自見早苗です。
中央受付では、貝塚病院を受診される患者さまをはじめ、来院される全ての方の受付をしております。私たちが日頃心掛けていることは笑顔です。笑顔は健康にも良いということは皆さんもご存知かと思いますが、不安やストレスを軽減させる効果や、美容効果もあります。笑い過ぎて顔が痛くなるという経験が皆さんございませんか？顔の筋肉を使うことでマッサージ効果があり肌の潤いが出るそうです。よく笑う方はいきいきしていますし、若く見えるなぁと思うことがあります。

今後も、気持ちのこもった笑顔を大切に患者さまの不安などを少しでも和らげてあげられるような明るい笑顔で日々努めて参ります。

貝塚病院に来院された際は、お気軽にお声掛けください。外来スタッフ一同お待ちいたしております。

医事課外来　自見 早苗

病診連携登録医療機関一覧

貝塚病院では、患者さまが掛り付けを選びやすいように、以下の医療機関と連携をしています。詳しい診療内容をお知りになりたい方は、地域医療連携室までお問い合わせください

	☎
【古賀市】	
トーマ・クリニック	943-3335
【青葉地区】	
あおばクリニック	663-2037
【香椎地区】	
うえの内科クリニック	683-3237
うだ脳神経外科クリニック	672-1204
香椎内科診療所	672-0808
かわさき内科循環器科クリニック	663-8828
タカハラ整形外科クリニック	671-0008
たつやまファミリークリニック	674-2066
香椎百年クリニック	681-8811
【城浜団地】	
江森医院	661-2525
川崎外科整形外科医院	663-3806
【千早地区】	
おくだクリニック	661-9555
はらまき内科消化器科クリニック	681-1324
丸岡内科小児科クリニック	663-5234
宮近整形外科医院	672-0071
和田美也内科クリニック	683-3838
【土井地区】	
鮎川内科	663-6633
石橋整形外科医院	691-1031
中山医院	691-3660
【箱崎地区】	
入江内科小児科医院	651-4521
岡田内科クリニック	651-7011
陣内整形外科内科医院	651-0747
田村医院	651-2310
二宮内科小児科医院	651-1327
はーとクリニック	632-7111
ふじの内科循環器科クリニック	641-5003
増田内科小児科医院	651-2814
【八田地区】	
添島内科医院	691-3663
【奈多地区】	
くすもとクリニック	607-2345

	☎
【筥松地区】	
荒巻医院	629-3311
髙野胃腸科	622-1461
【原田地区】	
井本クリニック	621-3455
はこざき公園内科医院	624-3531
ふれあいハートクリニック	406-0355
【東浜地区】	
ゆめタウン総合クリニック	631-8027
【舞松原地区】	
かもりクリニック	661-3311
【松崎地区】	
平沼整形外科	672-5600
【水谷地区】	
いわくに内科クリニック	683-1877
内田整形外科医院	681-2511
ふくどめ内科医院	681-1516
【若宮地区】	
福岡ハートクリニック	663-3806
三好医院	682-1547
【和白地区】	
あんのうクリニック	607-8455
坂本脳神経外科クリニック	605-8282
【唐原地区】	
まつもと内科クリニック	671-1233
【雁の巣地区】	
西藤医院	608-3110
【多の津地区】	
辻内科クリニック	622-5800
【多々良地区】	
おおがみ医院	663-1919
宮崎内科クリニック	681-6777
【塩浜地区】	
内藤整形外科医院	608-0066
【新宮地区】	
のぞみクリニック	962-2233

外来診療担当医一覧　（平成25年4月現在）

予　＝　予約のみ、予約制

診療科	氏名	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	川口 信三	○							○			予
	村川 昌弘	○		○	○			○			○	
	村島 史朗	○		○				○	○			
	山脇 徹	○		○		○						○
	永渕 義朗		○				○	○		○		
腎臓内科	堀田 義雄		○			○				○		
外科	庄司 哲也	○		○		○				○		
	島袋 林春	○		○		○		○		○		○
腎透析科	矢野 和浩	予		予		○		○		予		予
整形外科	今村 竜治	○		○	○	○				○		○
	石黒 健也	○	○			○		○		○		○
機能神経外科	宮城 靖			○			予	○			予	予
ペインクリニック	松下 至誠			予								

外来診療非常勤一覧

診療科	氏名	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	馬場 英司(九大)					○	○					
	深田 光敬(九大)							○				
	宮本 敏浩(九大)									○		
	吉本 五一(九大)											○
	亀崎 健次郎(九大)											○
神経内科	本田 裕之(九大)					○						
	大八木 保政(九大)											○
循環器内科	阿比留 剛		○		○		○		○		○	
ストレス内科	神谷 博章(九大)			予	予							

※診療時間等は、予告なく変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください

医療法人
貝塚病院

〒812-0053
福岡市東区箱崎7丁目7-27

TEL 092-632-3333
FAX 092-632-2230
HP http://www.kaizuka-hosp.or.jp/

交通　地下鉄箱崎線・西鉄貝塚線　貝塚駅より徒歩8分
　　西鉄バス　高須磨町バス停下車すぐ

受付時間

- 月～金曜／8:30 ～ 12:30　13:30 ～ 16:30
- 土　曜／8:30 ～ 12:30
- 休　診／日曜、祝日、年末・年始(12/30 ～ 1/3)

規　模

許可病床数……199床
一般病床……130床
障害者施設等一般病床……58床
人間ドック……11床

認定施設等

救急告示病院
労災指定医療機関
生活保護法指定医療機関
指定自立支援医療機関(腎臓に関する医療、精神通院医療
がん検診登録医療機関
　(胃がん、肺がん、大腸がん、ウイルス性肝炎検査)
特定健診・保健指導実施医療機関
予防接種登録医療機関(公費インフルエンザ)
日本定位・機能神経外科学会認定施設
日本外科学会関連施設
日本癌治療認定研修施設
日本人間ドック学会認定優良二日ドック施設
日本病院会会員
福岡県病院会会員

編集後記

「こんにちは。広報担当の地域医療連携室です。新年度を迎え、当院にも、22名の新しい仲間が加わりました。地域医療連携室にも新卒職員が入職し、ますます活気あふれる職場になりました。
病院全体では、外部より講師をお招きし、管理職研修会を実施するなど、積極的に職員の質の向上に向けて取り組んでいます。
今回は、新入職員の紹介を中心に作成致しました。皆さまに少しでも覚えていただけたらと思います。」